



壁を耐震改修補強した事例

耐震診断の結果、総合評点が0.27のため、『倒壊または大破壊の危険があります』となり、総合評点を0.70にする簡易耐震改修補強工事を実施した事例。

(*工法により施工方法は異なります。)

- 建築年度：昭和39年度
- 改修年度：平成30年度
- 構造/階数：木造2階建
- 延べ面積：約225㎡
- 改修費用：約630万円（消費税込）
- 工事内容の概要
 - 壁耐震補強数：3箇所
 - 基礎補強数：8箇所
 - 屋根の軽量化

備考

耐震改修工事事例No. 屋根-4と同じ建物です。

【お施主様のコメント】

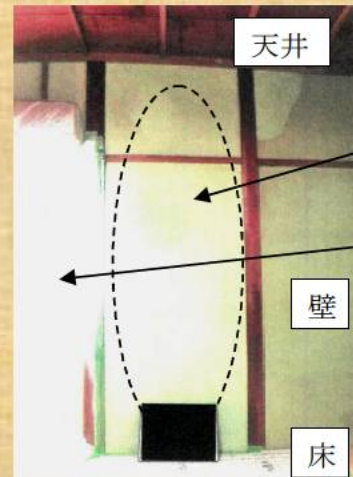
- ・ 施工業者が丁寧に対応してくれました。

総合評点

木造住宅の簡易耐震診断は、地盤・基礎、建物形状、壁の配置（偏心）、筋違、壁の割合（壁量）、老朽度の各項目についてそれぞれの状況により評点をつけた上で、各評点を掛け合わせて総合評点を求めます。総合評点と判定の関係は以下のとおりです。

総合評点	判定
1.5以上	安全です
1.0以上1.5未満	一応安全です
0.7以上1.0未満	やや危険です
0.7未満	倒壊または大破壊の危険があります

耐震改修工事前の状況



工事順番①

改修概要

室内からの撮影状況
工事前の状況

工事範囲以外については、フィルムで養生して工事を実施

耐震改修工事中の状況



工事順番④

改修概要

室内からの撮影状況

耐震壁下地を設置

耐震改修工事中の状況



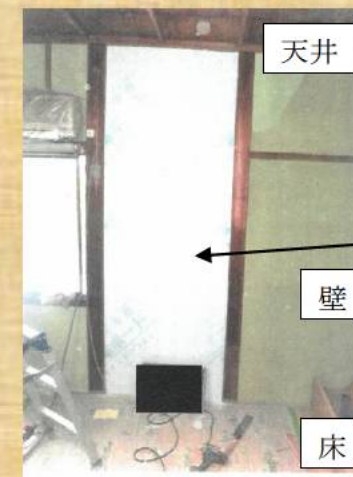
工事順番②

改修概要

室内からの撮影状況

既存の筋違及び壁を撤去し、より耐力の大きな壁に改修

耐震改修工事中の状況



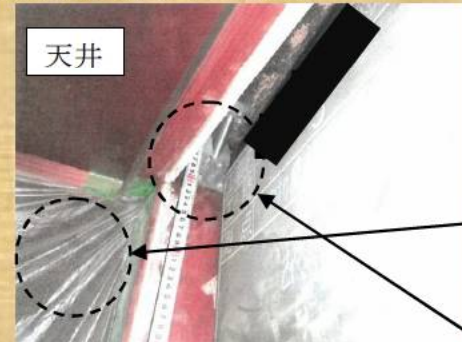
工事順番⑤

改修概要

室内からの撮影状況

耐震ボードを設置

耐震改修工事中の状況



工事順番③

改修概要

室内からの撮影状況

工事範囲以外については、フィルムで養生して工事を実施

柱・梁接合部を金物により緊結

耐震改修工完了の状況



工事順番⑥

改修概要

室内からの撮影状況

耐震改修工事完了